

# Global Career Survey

## 〔基本報告書〕

## Global Career Survey 目次

<b>調査概要</b>		<b>Part V 就業意識</b>	<b>75</b>
調査概要	4	1. 仕事をする上で大切だと思うもの	76
本報告書に掲載しているデータについて	5	2. 望ましいと思う働き方	83
<b>Part I プロフィール</b>	<b>7</b>	<b>Part VI グローバル関連</b>	<b>93</b>
1. 個人属性	8	1. 海外在住経験と語学力	94
1) 性別	8	1) 在住経験のある国・地域(複数回答)	94
2) 年齢	9	2) 最も在住期間の長かった国・地域(単一回答)	96
3) 家族構成	10	3) 海外在住期間	98
2. 年収	11	4) 海外在住目的	99
1) 昨年の年収-主な仕事からの収入-	11	5) 英語力	100
2) 昨年の年収-他の仕事からの収入-	25	6) 中級レベル以上のアジア系言語	101
<b>Part II 現在の就業実態</b>	<b>37</b>	2. 海外勤務意向	102
1. 現在の就業状況	38	1) 海外勤務意向	102
1) 勤務形態	38	2) 外資系企業勤務意向	108
2) 働きかた	39	3. 日系企業イメージ	110
3) 契約の種類	40	<b>付録</b>	<b>115</b>
4) 勤務先の種類	41	調査画面見本	116
5) 就業職種	42		
6) 役職	44		
2. 現在の仕事満足度	45		
<b>Part III 初職入職・就業実態</b>	<b>47</b>		
1. 在学中から就職するまで	48		
1) 社会人になる前に卒業した学校	48		
2) 卒業学部系統(研究科)	49		
3) 卒業後の進路を決めた時期	50		
4) 卒業後の進路を決める上で影響を与えたもの	51		
5) 在学中に卒業後の最初の仕事は決まっていたか	53		
6) 就職活動で自身の強み・セールスポイントに なっていたもの	54		
7) 初職入職経路	56		
2. 初職の就業状況	58		
1) 勤務形態	58		
2) 働きかた	59		
3) 契約の種類	60		
4) 勤務先の種類	61		
5) おもな退職理由	62		
<b>Part IV 転職行動実態</b>	<b>65</b>		
1. 転職経験	66		
1) 退職経験の有無	66		
2) 退職経験者の退職回数	67		
3) キャリアコンサルタントとの付き合い	68		
2. 転職時の状況	69		
1) 前の会社(仕事)のおもな退職理由	69		
2) 現在の会社(仕事)の転職のきっかけ	71		
3) 現在の会社(仕事)への入職経路	72		
3. 転職前後の年収の変化	74		

## 調査票Qナンバー順目次

設問番号	国別・性別・年齢別	データ掲載ページ	設問番号	国別・性別・年齢別	データ掲載ページ
SQ1-1	社会人になる前に卒業した学校	48	F1	性別	8
SQ1-2	卒業学部系統(研究科)	49	F2	年齢	9
Q2	卒業後の進路を決めた時期	50			
SQ2	卒業後の進路を決める上で 影響を与えたもの	51			
Q3(2)	初職の就業状況 勤務形態	58			
Q3(3)	初職の就業状況 働きかた	59			
Q3(4)	初職の就業状況 契約の種類	60			
Q3(5)	初職の就業状況 勤務先の種類	61			
Q3(6)	退職経験の有無	66			
Q3(7)	初職の就業状況 おもな退職理由	62			
Q4	在学中に卒業後の最初の仕事は 決まっていたか	53			
Q5	就職活動で自身の強み・セールスポイントに なっていたもの	54			
Q6	初職入職経路	56			
Q7	退職経験者の退職回数	67			
Q8(2)	現在の就業状況 勤務形態	38			
Q8(3)	現在の就業状況 働きかた	39			
Q8(4)	現在の就業状況 契約の種類	40			
Q8(5)	現在の就業状況 勤務先の種類	41			
Q8(7)	前の会社(仕事)のおもな退職理由	69			
Q9(2)	現在の就業状況 勤務形態	38			
Q9(3)	現在の就業状況 働きかた	39			
Q9(4)	現在の就業状況 契約の種類	40			
Q9(5)	現在の就業状況 勤務先の種類	41			
Q10	就業職種	42			
Q11	役職	44			
Q12	現在の仕事満足度	45			
Q13	現在の会社(仕事)の転職のきっかけ	71			
Q14	現在の会社(仕事)への入職経路	72			
Q15	転職前後の年収の変化	74			
Q16	キャリアコンサルタントとの付き合い	68			
Q17	仕事をする上で大切だと思うもの	76			
Q18	望ましいと思う働き方	83			
Q19(1)	在住経験のある国・地域(複数回答)	94			
Q19(2)	最も在住経験の長かった国・地域(単一回答)	96			
SQ19-1	海外在住期間	98			
SQ19-2	海外在住目的	99			
Q20	英語力	100			
SQ20	中級レベル以上のアジア系言語	101			
Q21	海外勤務意向	102			
Q22	外資系企業勤務意向	108			
Q23	日系企業イメージ	110			
Q24	家族構成	10			
Q25a	昨年の年収-主な仕事からの収入-	11			
Q25b	昨年の年収-他の仕事からの収入-	25			

## 調査概要

### 《Global Career Survey》

- 調査目的  
世界の都市圏で働く大卒20代、30代の入・転職実態について明らかにする。
- 調査エリア
 

調査エリアA	調査エリアB
中国： 上海	アメリカ： ニューヨーク、カリフォルニア
韓国： ソウル	ブラジル： 全国(ただしサンパウロとリオデジャネイロ中心)
インド： デリー、ムンバイ	ドイツ： 全国
タイ： バンコク圏	ロシア： モスクワ圏
マレーシア： クアラルンプール圏	オーストラリア： 全国(ただしシドニーとメルボルン中心)
インドネシア： ジャカルタ圏	
ベトナム： ハノイ、ホーチミン	
- 調査対象  
大学卒以上で現在働いている20～39歳の男女。(短大卒除く)
- サンプル数  
調査エリアA： 中国：617名、韓国：613名、インド：610名、タイ：606名、マレーシア：610名、インドネシア：605名、ベトナム：614名  
調査エリアB： アメリカ：601名、ブラジル：600名、ドイツ：606名、ロシア：600名、オーストラリア：603名
- サンプリング  
各国、性別・年齢10歳階級別に150名ずつ均等に割り付けを行い、合計600名を回収目標とした。
- 調査期間  
調査エリアA： 2012年9月14日～9月21日  
調査エリアB： 2012年12月3日～12月11日
- 調査方法  
インターネットモニター調査

### 《ワーキングパーソン調査2012》

- 調査目的  
日本の首都圏で働く人の就業に関する実態と意識を明らかにする。
- 調査対象母集団  
首都圏50km(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で、正規社員・正規職員、契約社員・嘱託、派遣、パート・アルバイト、業務委託として2012年8月最終週に1日でも就業している18～59歳の男女。(学生除く)
- サンプル数  
9790名(男性：5631名、女性：4159名) (06年集計よりウエートバックによる集計は行っていない)
- サンプリング  
社員グループとパート・アルバイトグループに分け、性別・年齢5歳階級別・エリア別に割り付けを行った。  
社員グループは、「正規社員・正規職員」  
パート・アルバイトグループは、「契約社員・嘱託」「人材派遣企業の派遣社員」「パート」「アルバイト」「業務委託」
- 調査期間  
2012年9月19日～9月27日
- 調査方法  
インターネットモニター調査

## 本報告書に掲載しているデータについて

本報告書では、4ページ記載の2調査の結果を掲載。  
並べて掲載するために、以下のとおり、条件をそろえた一部のデータに絞っている。

### 《Global Career Survey》

現在の仕事の勤務形態が「会社員・団体職員」「公務員」の人のみに限定(下表太枠内)

#### ◆現在の仕事の勤務形態

(単一回答:度数)

	n	会社員・ 団体職員	会社 経営者・ 役員	公務員	自 営業 主	(自 営業 の) 家 族 従 業 員
中国	617	<b>494</b>	84	<b>24</b>	12	3
韓国	613	<b>512</b>	18	<b>50</b>	24	9
インド	610	<b>449</b>	65	<b>34</b>	39	23
タイ	606	<b>455</b>	16	<b>46</b>	59	30
マレーシア	610	<b>404</b>	86	<b>67</b>	41	12
インドネシア	605	<b>434</b>	17	<b>51</b>	73	30
ベトナム	614	<b>437</b>	30	<b>112</b>	20	15
アメリカ	601	<b>453</b>	40	<b>43</b>	43	22
ブラジル	600	<b>353</b>	37	<b>110</b>	82	18
ドイツ	606	<b>474</b>	20	<b>61</b>	44	7
ロシア	600	<b>464</b>	42	<b>32</b>	36	26
オーストラリア	603	<b>449</b>	22	<b>65</b>	46	21

### 《ワーキングパーソン調査2012》

以下の条件すべてに該当する人のみに限定

- ・年齢: 20~39歳
- ・最終学歴: 大学あるいは大学院
- ・社会人になる前に卒業した学校: 大学あるいは大学院
- ・現在の就業形態: 正規社員・正規職員、契約社員・嘱託、派遣、パート・アルバイトのいずれか

さらに、人数をGlobal Career Surveyと近づけるため、性別・年齢10歳階級別に150名ずつをランダムに抽出して本報告書には掲載している。

